

食品関連産業「カイゼン」定着支援事業

～作業工程の見直しにより、ものづくりレベルアップを図ります～

食品関連企業を対象に、ものづくり企業としての意識の向上や、徹底したコストダウンを実践できるような生産体制を整備・定着させることで利益拡大を図り、新商品開発等への取り組みを促進する中で、具体的な事例を整理しました。

(事業実施期間(6年間):総支援企業数 107社 延べ支援回数 1921回)

主な成果事例

D
生産性

企業名:株式会社 丸俊

代表取締役社長 横山 恵美

業種:鯉節の製造・販売

住所:鹿児島市小松原1丁目46-1

従業員数:42人



【課題】

- ・生産性を向上させたい、販路拡大を図りたい。

【カイゼン目標(指標)】

- ・1時間当たりの出来高を50%アップ
- ・売上を10%アップ

【取組内容】

- ①生産計画立案運用による適正在庫が確保でき効率の良い生産対応
- ②製造目標と実績の「見える化」、手待ちロス改善及び最適なレイアウト実施
- ③作業方法の見直しと自動計量充填機を最適条件設定に変更



【成果】

- ・1時間当たり349袋→751袋に改善し、出来高が2.2倍上昇したことで3名分の削減効果があり、年間5,400千円の改善
- ・販路拡大ができ、売上高がアップした。

③作業方法の
見直し風景 →



【支援企業の評価】

カイゼンインストラクターの支援により、まずは現状を「見える化」し、それによって課題を分析しながら計画、実践、改善へと導いていただきました。この支援を通してスタッフの意識改善にも繋がり、生産が標準化され生産性も向上し成果も得られ、企業としても成長することが出来ました。インストラクターのプロフェッショナルなご指導に感謝いたします。



(横山社長)

C
原価・
コスト

企業名：株式会社ビッグファイブ

代表取締役社長 政田 久湖

業種：餃子の製造・販売

住所：鹿児島市東開町4-74

従業員数：23名



【課題】

- ・商品とならない製造廃棄ロスが多く、原価を押し上げている。

【カイゼン目標(指標)】

- ・製造の廃棄ロスを30%低減

【取組内容】

- ①分類毎に廃棄を計測し、実績を「見える化」
することで意識改善と原因追究
- ②機械不具合の改善と設備条件の最適化及び設備の予防保全実施
- ③粘度・水分バランスの最適化実施により成型不良改善



【成果】

- ・2017年比で廃棄率が49.4%改善し、
年間1,456千円の廃棄ロスが削減された。
- ・原価率安定にも貢献している。
- ・2017年比で売上がアップ、経常利益もアップした。

廃棄ロス実績



【支援企業の評価】

定期的に訪問、指導頂くことが自然にPDCAを回すことになっており、年を追うごとに工場や事務所が変化していった。結果が見えることで喜びとなり、またPDCAをまわすという良いサイクルができたと思う。不良原因を特定する段階で、自分たちで解決する能力や未然に防ぐ意識も身についたように思う。弊社にとって無くてはならない支援となっている。



(政田社長)

企業名：上野食品株式会社

代表取締役社長 上野 小夜子

業種：たけのこ水煮、缶詰、山菜水煮加工

住所：阿久根市山下7607

従業員数：18名



【課題】

- ・新人教育は、先輩社員が自らの経験を基にした実務指導で行っていたことから、習得期間が長くなり、指導内容にバラツキが生じていた。また、時には、ポカミスが発生するなど生産性を阻害する要因となっている。

【カイゼン目標(指標)】

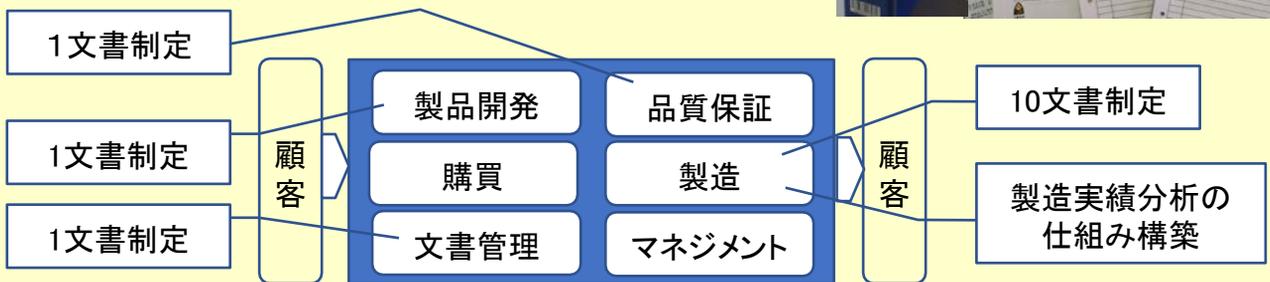
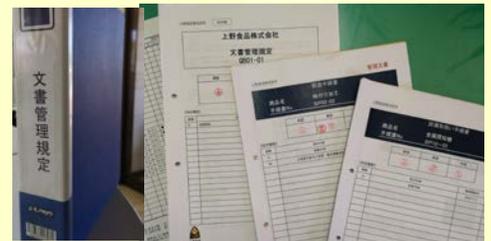
- ・たけのこ水煮缶詰製造の大手に相応しい業務の標準化(文書化)を行い、人資源の有効活用と、人によるバラツキの排除(生産性の安定及び改善)を達成する。

【取組内容】

- ・必要性を共有するための勉強会を開催(他の内容を含め計6回開催)
- ・標準案の提供を受けて、現場を含めての社内検討実施

【成果】

- ・業務の標準13件を文書化して制定登録
- ・周知教育を実施するとともに、教育記録を作成
- ・改善の基礎となる製造実績分析の仕組み構築
- ・人作業のバラツキ抑制に対する改善意欲の醸成



【支援企業の評価】

指導内容のバラツキ抑制の相談がキッカケでしたが、基礎的な業務の標準化から支援を開始して頂きました。

標準作成を通して、文書で伝える事、標準改定後に作業内容を変更する事、標準内容を全員に周知する事がミス・クレーム撲滅に極めて有効であることを理解しました。製造実績の分析の仕組みまで構築できたので、今後、カイゼン課題の抽出そして対策を実施し、利益改善を達成したいと考えております。

大きな財産を残して頂き有難うございました。



(上野社長)

Q
品質・
歩留

企業名:株式会社 エヌチキン

代表取締役 徳満 義弘

業種:食肉の製造・販売

住所:南九州市知覧町郡3669番地

従業員数:265名



【課題】

- ・原料から完成までの炭火焼一貫歩留の計画値が達成できない。

【カイゼン目標(指標)】

- ・加重平均歩留(60.2%→68.5%)が8.3%アップ

【取組内容】

- ①原料受け入れ時のチェックから不具合品のフィードバック
- ②作業員へ計量方法の指導及び作業の標準化
- ③設備条件の最適化
- ④歩留の結果を従業員へ向けて掲示、意識付け
- ⑤炭火焼熱処理時間の最適化
- ⑥選別、計量、包装ラインの自動化

【成果】

- ・加重平均(60.2%→76.1%)が15.9%アップ
- ・歩留アップによる改善額 17,187千円/年間



①

チェック作業



②

計量作業



【支援企業の評価】

カイゼンインストラクターは大変経験豊富で的を得たアドバイスにより収益改善できたので大変ありがたい支援でした。
是非今後も続けてほしい事業です。



(徳満 代表取締役)

食品関連産業「カイゼン」定着支援事業

公益財団法人 かごしま産業支援センター

総務情報課

鹿児島市名山町9番1号(鹿児島県産業会館2階)



099-219-1275



099-219-1279



URL <https://www.kisc.or.jp>

【カイゼンインストラクター】



磯脇弘人(イワキ ヒロト)

半導体製造メーカーに勤務。
現場のカイゼン、生産管理等に従事。



温水洋一(ヌミズ ヨウイチ)

半導体製造メーカーに勤務。品質管理、ISO9001、企業コンプライアンス等に従事。

【6年間を振り返って】

多くの企業に生産性・品質の向上・原価低減など多くの改善に取り組んでいただき、利益アップ・販路拡大・雇用の安定化・職場環境改善などの支援をさせて頂きました。県内企業が益々改善に取り組み生産性を更に向上されることを期待します。